

9月6日は校祖公江喜市郎先生のご命日です。昭和56年（1981年）、御年85歳の天寿を全うされました。ご逝去の1か月後の10月6日に武庫川学院葬を行いましたので、学院ではその日を「校祖の日」

「校祖の日」を迎えるにあたつて

『今日のあなたと
明日のあなたはきっと違ふたが

人は、今田という時間を積み重ねて変わり続けていくのだ

と定めて、毎年お偲びする行事を行うことにしてい
ます。（今年は体育大会代休の日にあたるので10月
4日に行います）公江先生のご尽力に感謝申し上
げ、ご冥福をお祈りしたいと思います。



全国高校野球選手権大会甲子園をみて

高校教頭 明貝 每

今年の夏休みは、どう過ごしましたか？天候的には、うだるような暑さの日が少

富山商業高校の試合と春日部共栄高校対敦賀気比高校の対戦でした。すべて見られませんでしたが、いい試合でした。決勝進出は、大阪桐蔭対三重でした。本当にどちらが優勝しても不思議でない試合でした。しかし勝利の女神が桐蔭についていました。おめでとうございました。

ところで夏の高校野球の開会式には、「西宮をP Rする会」が主催する人文字づくりに、バレー部、剣道部、陸上部、バトン部の部員たちが毎年参加しています。しかし、今年は、雨天のため54年ぶりに開会式が中止になりました。二日後に開会式が行われましたが、残念ながら人文字づくりは実施されませんでした。

私にとつては、武庫川では味わえない高校野球を毎年体験にいっています（武庫川のソフトボールはよく応援にいっていますが）。高校野球は、チームプレーです。一人だけよく打つ選手がいてもだめ！一人だけ目立った選手がいてもだめ！いかに選手がそろっているか！いかにピッチャーがいいか！いかにチームワークがいいか！いかに練習しているか！監督がいかに選手を把握しているか！勝つにはどうすればいいかを考えさせているか！毎年高校野球を見ながら参考にしています。思えば、私が、大学時代、甲子園大会の銚子商業高校の試合をよく見ていましたが、2年連続でいいところまで進んでいました。そして、ピッチャーが2年連続だったと思います、監督も好きでした。全然すつきりしていらない田舎のおじさんのような先生でした。それが、見事全国優勝を成し遂げました。監督、選手、全員が涙、涙、の表彰式でした。それを見て私も涙が出ていたことを思い出します。そして、自分も、陸上部の監督をして優勝するぞ！と思つたことが懐かしく思いだされます。（感動がだいじです）

2学期は、体育大会・文化部発表会など行事が多くあります。計画を立てて何事も両立できる努力をしましよう。日頃、部活動と縁がない人も、真剣に挑戦しよう。青春しよう。おおいに盛り上がりましょう。そして、感動しよう！

9月号
(第314号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部

New Teacher



Erica Reynolds 先生



Hello, everyone!

I'm very excited to start teaching 8th grade here at Mukogawa. I hope we can have fun and get to know each other. Please come and talk to me any time. I'll be in English club and the chat room. I'm looking forward to meeting everyone!



公江先生は昭和6年の欧米教育視察に行かれ、この時の見聞を基に理想の私学を創設すべく努力奔走されました。本校の前庭にそびえる時計塔について、公江先生は自分の本の中で「私はここに高い塔を建てた。この意味は理想を高く仰ぎ、しかも常に足をしつかり踏みしめ、校門の出入りには感謝の念をもつて一礼して通ることを期待していると書かれています。

本校からは高等学校3年生SSクラスの5人(足班)が参加し、惜しくも文部科学大臣賞は逃しましたものの、次点の「審査委員長賞」に輝きました。

今年度は、平成24年度指定校の73校から6校しか選ばれない代表校に選出され、5,000人を超える会場で堂々とプレゼン発表・質疑応答を行いました。

8月6日(水)～7日(木)の2日間にかけて、文部科学省と独立行政法人科学技術振興機構主催の全国スーパーサイエンスハイスクール(SSSH)生徒研究発表会が、神奈川県パシフィコ横浜において開催されました。

全国SSH生徒研究発表会で
「審査委員長賞」を受賞――



運動歴、ヒール使用、靴の大きさなど
のアンケート調査をまとめ、これにBM
I値を絡めて統計学的にデータをまとめ
ました。一般的に報告の少ない若年女性
の調査を行いました。

中1 SE Camp (8/22～24)

今年はSEコースの生徒32名に加えて、I・SSコースの生徒31名参加して、総勢63名で行いました。

生徒たちは8人ずつの小グループに分かれ、英語を使ってさまざまなプログラムに参加しました。それぞれのグループに英語のネイティブスピーカーの先生と本校のSEコース出身で大学1回生のアシスタントがつきました。

このプログラムの特徴は、英語の表現を学んだ後に、実際に英語を使う機会があることです。買い物をするときの表現を学び、その後、実際に英語で会話ををして買い物(ゲーム)をしました。英語が第1言語として話されている国について学び、その後手作りのパスポートを持つてそれぞれの国のブースを回り、英語での質問に答え、スタンプをもらいました。

グループごとに練習し、力を合わせて発表もしました。英語の歌を歌い、最終日には、英語の本の読み方を2日間練習し、身振りを加えたり、声色や小道具を使ったり、それに工夫をこらしていました。英語の歌を歌い、最終日には、英語の本の読み方を2日間練習し、身振りを加えたり、声色や小道具を使ったり、それに工夫をこらしていました。

**EN・3 English Workshop (8/22～23、25)**

食事のときも英語を話し、英語漬けの3日間でした。研修を終えて生徒たちは英語を聞いたり話したりするときに少し自信がつき、英語を学ぶことにより積極的になりました。

**高2 English Workshop (8/1～3)**

高2は、3日間にわたり英語ディベートスキル3つのルール「Try to speak English Mistakes are OK! Have Fun!」が示され、それを目標にみんな頑張り、成果をあげました。

オーピングセレモニーでは代表の先生より3つのルール「Try to speak English Mistakes are OK! Have Fun!」が示され、それを目標にみんな頑張り、成果をあげました。

両学年ともDVDを見て、その作品のせりふを理解する練習や、形容詞

を用いて文章を広げる練習などで語彙力の強化に努めました。リスニングや会話表現やその場の状況説明をするなど、3日間という短い期間でしたが、有意義なワークショップとなりました。

高1 SE Camp (8/24～26)

アメリカ、カナダ、ジャマイカ、ナイジエリアなど様々な国のネイティブスピーカーの先生方を外部講師として迎え、高1 SEコース対象のイングリッシュキャンプを、神戸市北区にある丹嶺学苑研修センターで行いました。

オープニングセレモニーに続き、自己紹介を兼ねた活動から英語での生活を開始。ネイティブの先生方に積極的に英語で話しかけ、講堂での異文化理解パートでは、ゲームやダンス、歌、エクササイズで大変盛り上りました。

英語での発表の機会を増やしていく、この研修の目的である最終日の26日に行う各自のプレゼンテーション作成に向けて、さまざまことを英語で学びました。途中、屋外でフリスピーゲルフを楽しみ、ドラフト、ビジュアルエイドの作成、講師によるチェック、そして効果的なジェスチャーなどを練習。

各自が作成したプレゼンテーションを、ネイティブの先生方からアドバイスを受け、グループ内や講堂で発表しこの研修の集大成であるプレゼンテーションはみごとに仕上がりました。

キャンプ終了後、「授業やゲームは楽しかったです。これを機に、多くの国の人と交流したいという思いが強くなりました」と生徒の感想が聞かれました。

中3 海外研修 アメリカ(7/21～8/5)

中学3年生36名が期待と不安に胸をふくらませて16日間の研修に参加しました。

本学と提携しているチャールズライトアカデミー校の先生方がピュージェットサウンド大学で、英語の授業やグループアクティビティを行ってくださいました。校外研修では、シアトルでの市内散策と野球観戦、国立公園マウンテン・レーニアへの登山、タコマモールでのショッピングなどを行いました。日本とは異なる文化・景観に感動し、様々な体験を通して

マートフォンは学校生活に必要か」でした。が、白熱した討論の応酬があり、審判も優劣を判定するのに苦労する場面も見られました。

参加した生徒は、「英語の授業は難しかっただけれど、グループアクティビティなどを通して楽しめたです。これからも英語漬けになるワークたいへんおもしろかったです。これからも英語漬けになるワークショップをたくさん経験したいです」と、成長の手応えをつかんだ様子でした。

参加した生徒は、「英語の授業は難しかったけれど、グループアクティビティなどを通して楽しめたです。これからも英語漬けになるワークショップをたくさん経験したいです」と、成長の手応えをつかんだ様子でした。

高3 SE 海外研修 ニュージーランド(7/22～8/8)

高校3年SEコースのニュージーランド研修は、2クラスがそれぞれランギオラ高校とリンカン高校へ行き、約2週間にわたって様々な活動や授業に参りました。

それぞれの学校においてバディと一緒に通常授業やマオリ文化の授業を受けたり、南極センターや動物園を訪れたり、羊の毛刈りを体験したりしました。休日にはホストファミリーと一緒に買い物を楽しんだり、地震の跡がいまだに残るクライストチャーチ市内中心部を訪れたりしました。また、マウントクックやダニーデンなどへも行き、世界一急な坂やチョコレート工場を訪れたりしました。

約2週間の研修でしたが、生徒は多くの貴重な経験を得ることができました。

親子で楽しむ科学教室

高校1年27名、高校2年10名 計37名が参加しました。朝夕は肌寒いのですが、日中は半袖でもすぐせる快適な17日間でした。2名ずつを基本としたホームステイの生活をベースに、学校生活では午前中、英会話を中心としたオーストラリアの文化や生活について学ぶ授業を受け、午後は現地校(トリニティ・ルーサン・カレッジ)の高校生とともに現地の授業を受けました。そんな生活の合間に、乗馬体験、動物園見学・小学校訪問のほかにリタイヤメントビレッジ(老人ホーム)への訪問では、日本文化を伝えたり、歌を披露したりしました。土日はホストファミリーとともに過ごしたので、片言ながら心が通じ合って、どの生徒も別れの日はいつまでも離れがたいようでした。いろんな意味で将来につながる研修ができたと思います。



高校海外研修 オーストラリア(7/23～8/8)

高校1年27名、高校2年10名 計37名が参加しました。朝夕は肌寒いのですが、日中は半袖でもすぐせる快適な17日間でした。2名ずつを基本としたホームステイの生活をベースに、学校生活では午前中、英会話を中心としたオーストラリアの文化や生活について学ぶ授業を受け、午後は現地校(トリニティ・ルーサン・カレッジ)の高校生とともに現地の授業を受けました。そんな生活の合間に、乗馬体験、動物園見学・小学校訪問のほかにリタイヤメントビレッジ(老人ホーム)への訪問では、日本文化を伝えたり、歌を披露したりしました。土日はホストファミリーとともに過ごしたので、片言ながら心が通じ合って、どの生徒も別れの日はいつまでも離れがたいようでした。いろんな意味で将来につながる研修ができたと思います。

約200組の小学生・保護者を対象にした「親子で楽しむ科学教室」が7月27日(日)に行われました。小学生にいろいろな科学のおもしろさを伝えるために「ものの変化のふしぎ」「ものの動きのふしぎ」で楽しむ科学教室」が7月27日(日)に行われました。小学生にいろいろな科学のおもしろさを伝えるために「生きもののふしぎ」「数のふしぎ」「巨大熱気球をあげよう」というプログラムを用意しました。化学反応によって、色が変わる実験では、小学生はもちろん、保護者の方からも驚きの声があがりました。本校の生徒もお手伝いし、実験や観察の仕方をお姉さんらしく優しく教えてあげていました。



**手作り人形講習会 23年目を迎えました
～日米親善人形贈呈キヤンペーン～**

日本親善キヤンペーンの一環

これは必ず後で良い思い出に
変わってくれる。だから辛
いことも正面から受け止め
てもらいたいと話されまし
た。



として手作り人形講習会が今
年も7月22・24・25日の3日
間行われました。このキヤン
ペーンも今年で23年目を迎
ました。

久田圭子氏を講師としてお招
きし、女の子の抱き人形2体

を製作し、1体の人形は本学
アメリカ分校ムコガワ・フォート・ライト・インス
ティチュート（MFWI）を通じ、アメリカの小学
校をはじめ、各種教育機関に贈られます。前回まで
に1642組の人形が贈られ、贈呈先はアメリカ50
州、706施設に及んでいます。

昨年に続いて参加した生徒は「アメリカの小学校
からお礼状をもらいました」と嬉しそうに話してく
れました。この交流を通じ、両国の子どもたちはお
互いをいつも身近に感じ、これからの国際理解に役
立つていくことでしょう。

なお、このキャンペーンへの募金や日本人形の寄
贈は11月28日(金)まで受け付けています。

問い合わせ先

中高 総務部 石垣先生・小澤先生まで

全校委員会通信

今年度の学級正副委員長会の目標は「信頼
しあえる心」です。クラスがまとまるのも信頼
しあえる関係があつてのことだと思います。後
期は、そのような環境づくりにも力を入れながら、また、リーダートレーニングで築いた学年
を越えた縦のつながりも大切にしながら、文化
部発表会もぜひ成功させましょう。

(学級正副委員長会委員長 佐藤菜摘)

**リーダートレーニング
リーダートレーニングを求めて**

総勢120名の委員・クラス代表が、「リーダー^{heart}」を育むべく、8月19日(火)～20日(水)
に丹嶺学苑研修センターでリーダートレーニングを開きました。「リーダートレーニング」とは、信頼心・
積極心・挑戦心・協力心・向上心・発信心のリーダーとして必要な6つの心のことです。
藤原校長先生からは、本校が目指すリーダー像に
ついて学び、卒業生の杉本咲先輩からは、6年間委
員を務められた経験から、いかに多くの人に自分の
メッセージを伝えるかについて学びました。一緒に
やつてみようという声かけや、協力求める姿勢が
大切と話されていました。また、今は辛くとも、そ

・中学団体 第2位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

山口 琴可(中2) 第4位
(奈良県立橿原公苑第1体育館)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

山口 琴可(中2) 第4位
(奈良県立橿原公苑第1体育館)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・中学団体 第9位

磯部 可梨(中3) 岡田 彩夏(中3)
細川実可子(中3) 辻川 茉里(中3)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希(中2)
佐藤 詩音(中1) 和田陽菜子(中1)

・団体 第5位

鈴木 梨乃(中3) 中野 優希